



# 世界の青木とラウンド

57年度県アマゴルフチャンピオン

伊藤和久君(上町)



ゴルフを通じての最高の思い出は、昨年九月に、一流プロを集め北海道で開かれた「全日空オープン」に、全国選り抜きのアマにまじって参加したこと。  
そして雲上人として尊敬していた、今話題の青木功プロと二日間にわたりラウンドできたこと。

成東高時代は野球部のエースとして活躍。  
味方の拙守で、有望視されていた甲子園を逸したくやしさが、今日の根性を培っている。

高三の時肩をこわし、大学入学後にゴルフへ転向。天性の素質と研究熱心でメキメキ腕を上げ、今や押しも押されぬ県アマゴルフ界のプリンス。  
昨年の県オープン選手権でも、下馬評通りあっさり優勝。

「驚ろくほどのギャラリ―に囲まれ、固くなった自分に、気さくに話しかけアドバイスしてくれた青木さんのお陰でサードアマを取る事ができました。あの感激は生涯忘れる事ができません。」  
と精悍な顔から笑いがこぼれる。  
ゴルフ歴では先輩格の実兄も相当の実力者であり、義兄がプロゴルファーであることなど、恵まれた環境から、一段と成長が期待される頼もしき二十四歳である。  
ハンディ1、家業手伝い――

## 俳壇



風紋に込み寄る潮や風光る  
土屋 栗水  
うすらひやくぐり癖つく釘穴  
成田 様子  
鶴翔ちてはくれん散らすタバかな  
宇井 芝童  
春疾風園児らわたる列長く  
藤代 ゆう  
津田 若菜

## 歌壇



みち続くトンネル畑や光る風  
鈴木 草庵  
漱洗ふ手を休めけり笹子鳴く  
鈴木 南知  
牧牛の向きそれぞれに風光る  
若梅あやめ  
水草生ふ鎌を洗って今日終る  
北田 ふじ  
し熱まだ残りもこりるたれば  
海保 きみ  
苔むせし庭白のかけに咲きわたる  
春蘭に淡く日光ゆれるつ  
吉岡 信子  
拗られて黙する吾に幼な孫見上ぐ  
るその目が詫びてゐるなり  
向後まさ子  
小鳥等に洗ひ流しの飯撒けば朝毎  
よりてつひばみるたり  
斉藤つね子  
二時間後帰ってくる娘の着く迄に何  
しておかむ受話器置きつつ

## あぱれ剣士たち



二月二十七日、九十九里町で開かれた郡少年剣道大会に参加した町の選手たちは、日頃の稽古の成果を存分に発揮し、団体戦でフタバ剣友会が、また個人戦では同会の萩原義則君が堂々と優勝を果たし、剣道横芝の伝統が確実に次代へと引き継がれていることを物語りました。

## 横芝の碑

<123>

### 隠れた測量学者 宇井先生の碑

町文化財審議会委員 小沢春光さん寄稿  
木戸台に増福寺という寺があります。この寺のお堂の前に「宇井先生墓碑」と刻まれた碑が建っています。この碑は、幕末から明治の始めにかけて、地元の人々から「オ二の忠敬先生」とまで称えられた、隠れた測量学者、宇井正雄先生碩徳の碑なのです。  
先生は、文化七年(一八一〇)に、横芝村の井上家(当主利男氏)に生まれました。井上家は名主を勤める程の家柄でしたので、先生は幼い頃から勉学に勤んでいました。その才能は教える人も舌を巻く程でした。物心ついた頃請われて、木戸台村の宇井家に養子として迎えられました。が、宇井家でもその才能を愛され、更に近くの富田某という先生に師事することになりました。この先生が理数学に勝れていたことや、折から伊能忠敬先生の偉業を耳にされたこと等もあつたのでしょうか、宇井先生は好んで理数と測量学に力を注ぎ、終日机から離れない日が続く程の勉学でした。そうした努力は、何時か師の富田先生をしのぎ、測量学では逆に富田先生が教える